

～名所旧跡を巡って～ 歴史スポットから読み解く

探訪先：一東寺・教王護国寺（弘法大師、空海）一

日時：3月22日 10:00～12:30

平安京唯一の遺稿、春期特別公開中の東寺を若井先生のご案内でお参りしました。南北朝時代、足利尊氏が千手観音安置食堂を北朝御所化し勝利、以後不開門となった東大門を通り慶賀門から入門しました。この戦は鎮守八幡宮から鎬矢（菓子の変以来）が飛び勝利したと云われます。後醍醐天皇は宝物館保有・二間観音と三種の神器を持ち吉野へ逃れたとの事です。



宝物館 金堂・講堂 観智院

「宝物館見学」

- ・多くの大師像、菩薩像等を見学しましたが1930年の火災で焼失、昭和43年復元の千手観音像（元食堂本尊）が印象的でした。
- ・西寺の地藏菩薩像も保管。

「観智院見学」

- ・北朝～室町時代に優れた僧を排出した東寺の子院（1358年創建、東寺の観学院）。
- ・宮本武蔵筆の絵あり小次郎との決戦に備えて心の修行をしたと伝わります。
- ・本尊は五大虚空菩薩、愛染明王。



宝物館



観智院

「講堂 (21 尊) 見学」

- 大日如来を中心とし如来が囲み、右に五尊の菩薩、左に五尊の明王、四隅に四天王（右に梵天、左に帝釈天）が配置されていました。
- 如来と菩薩には上下関係はなく。如来は人を悟りに導く時、菩薩の服に着替える、その証拠に如来の耳はイヤリングを外した跡の穴があると云う。
- 如来＝悟りを開かれた仏。菩薩＝悟りを求める仏。神＝梵天等で仏法を勧め仏法を求める人を守るが迷っている人を救う力なし。明王＝如来と菩薩の次にくる、大日如来の化身で命を奉じ鬼の相を表し悪を降伏し、仏法を守護する。
- 大日如来＝宇宙の真理、真言密教の主尊。右に金剛波羅密多菩薩、左に不動明王が位置し自由変幻自在に身をかえ、求められる姿になって現れると云う。
- 大日如来と向き合う時、自分の先には如来が、如来の先には自分の姿がある。
- 僧文覚（東寺、西寺復興者）との出会いと 21 尊修理・南大門仁王像修理は運慶の京都進出の象徴的仕事となったとの事です。

「金堂見学」

- 本尊は薬師三尊座像、手に薬壺を持たず、後背に 7 体の化仏、日光・月光は昼夜を照らす。台座を取り巻く 12 神将像は薬師如来の 12 の大願を守る神。



講堂



講堂前の案内板



金堂

「食堂：千手堂、観音堂見学」

- 空海は本尊を聖僧文殊象としたが、千手観音菩薩、四天王像が 1930 年に火災で消滅。1934 年再建完成、新しい本尊は十一面観音像とし、聖僧文殊像、地藏菩薩像（西寺にあった）が安置された。
- 修復された千手観音像は宝物館へ、四天王像は食堂に安置され復元は後世に。僧の研学、経典を学び、僧の食事の場所とした（食事とは法を食う）。
- 安置された焼け焦げの四天王か？お顔が怖かった。早く元通りにと祈ります。

「お大師さんのお住まい」

- 西院御影堂（大師堂・寝殿）、10 年近く住む（1379 年焼失、翌年再建）。
- 旅立ちの日（東寺から高野山へ）蓮華門まで不動明王が見送りに来たと云う。

「見学しましたか？」

- ・灌頂院：密教重要儀式を行なう場。仏の位を継承する場。
- ・南大門：慶応4年（1868年）、神仏分離令（廃仏毀釈）、12/21 南大門桜上から出火、南大門、鎮守八幡宮、八島社焼失（八幡宮4体のご神体、弘法大師直筆八幡宮額、狛犬などは免れた）。焼失した南大門は三十三間堂の西門を購入し移築。
- ・五重塔：883年完成、創建80数年後焼失、再建を繰り返す、1644年家光により5代目塔再建。金堂は秀頼、五重塔は家光、講堂は室町時代の庶民が造ったと云われている。
戦時中は無住の寺で終戦の日には五重塔周辺の熊笹が花を咲かせたと云う。

- ・毘沙門堂：羅城門大風により倒壊、門上の兎蹴毘沙門天（多聞天）を食堂に安置後御影堂南側に毘沙門堂を設置した。

「ご存じでしたか？」

- ・大師の称号：空海＝921年弘法大師、没後76年・最澄＝伝教大師、没後44年。
- ・東寺保有国宝・重文：国宝＝25件・79点、重文＝55件・23,604点。
- ・三十帖策子：師恵果から学んだ教を纏めたノート、現在は仁和寺に。
- ・平成9年大修理：21尊中20尊修理（国宝15体、重文5体、金剛波羅菩薩以外）。昭和40年公開までは秘仏であった。
日本最古の明王像、839年制作時から修理まで1158年の歳月。
- ・公的教育機関（綜芸種智院）設立（826年、師恵果入滅日）：庶民の為の学校（学費無料と良い環境、総合的教育、優秀な教師、衣食の補助）。
- ・昭和40年拝観開始、平成7年創建1、200年で明和元年焼失鎮守八幡宮再建、平成9年3カ年計画運慶一門以来800年振りに講堂、諸尊修理の手が入る。
平成12年御影堂礼拝所として大日堂再建。



昨日までの寒さも一変し暖かくなり
又、宗教・神仏に疎い筆者（素浪人）
に取っても霊験あらたかな一日となり、
久し振りに会えた友の笑い顔と共に
素晴らしい一日でもありました。
（歴史大好き素浪人）